

会

議

午前10時 0分開議

議長（増田 清君） おはようございます。

出席議員が定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

議長（増田 清君） ここで報告の件があります。

静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の当選人の決定について、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙選挙長から当選人の決定について報告がありました。その写しを配付してありますのでご覧ください。

委員長報告・質疑・討論・採決

議長（増田 清君） それでは日程により、過日それぞれの常任委員会に付託いたしました議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）、議第46号 平成21年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）、以上2件を一括議題といたします。

これより各常任委員長から所管の委員会における審査の経過と結果について、報告を求めます。

まず、産業厚生常任委員長、鈴木 敬君の報告を求めます。

5番。

〔産業厚生常任委員長 鈴木 敬君登壇〕

産業厚生常任委員長（鈴木 敬君） 産業厚生常任委員会審査報告書。

本委員会に付託された議案は、審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告します。

記。

1．議案の名称。

1) 議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）（本委員会付託事項）。

2) 議第46号 平成21年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）。

2．審査の経過。

6月30日、第2委員会室において、議案審査のため委員会を開催し、市当局より藤井健康

増進課長、河井税務課長、藤井環境対策課長、増田産業振興課長、山田観光交流課長、井出建設課長の出席を求め、それぞれの説明を聴取の上、慎重に審査を行った。

あわせて関係議案にかかわる現地視察を行い、審査に万全を期した。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりである。

3. 決定及びその理由。

1) 議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算(第2号)(本委員会付託事項)。

決定、原案可決。

理由、やむを得ないものと認めた。

2) 議第46号 平成21年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)。

決定、原案可決。

理由、やむを得ないものと認めた。

以上です。

議長(増田 清君) ただいまの産業厚生委員長の報告に対し質疑を許します。

1番。

1番(沢登英信君) 予算書の20ページですが、4200観光総務事務の下田市夏期海岸対策協議会の補助金が130万増額になっていようかと思いますが、この増額の理由とこのことによって夏期対がどのようなところに補助がされて事業が前進をすることになるのか、この点についてお尋ねをしたいと思います。

〔産業厚生常任委員長 鈴木 敬君登壇〕

産業厚生常任委員長(鈴木 敬君) お答えします。夏期対の130万円の補助金につきましては、1つはこのところふえている吉佐美大浜とか外浦とか等々で増えている違法キャンプあるいは海岸、浜地でのバーベキュー、それらに対する禁止看板を設置するというためのもので、これが30万円、2つ目は白浜海岸がまた砂が直立というんですか、砂場が立ち上がっているのをそれをならず、その予算としてで85万。3つ目としては田牛海岸のほうの整備に15万。以上のほうに振り分けるといふふうに当局のほうから説明を受けております。

以上です。

議長(増田 清君) いいですか。

1番。

1番(沢登英信君) 海岸の海水浴場としての施設整備と違法キャンプ等の取り締まりに使いたいと、こういうことではありますが、やはり看板をつけただけでは違法キャンプは対策と

して非常に不十分じゃないかというぐあいに思うわけですが、看板とともにどのような形で白浜のご案内のように不法の物品販売等々も長らく指摘をされているところだろうと思うわけです。夏期対の改善についてどのような議論がされたのかあわせてお尋ねをしたいと思います。

〔産業厚生常任委員長 鈴木 敬君登壇〕

産業厚生常任委員長（鈴木 敬君） お答えします。違法キャンプ等々、浜地でのそういう違法行為に関しましては、夏期だけではなく通年にわたって禁止したらどうかとかさまざまな意見が出ました。しかし、国の財産地でありますし、県が管理しているというところで、下田市としては夏期の2カ月間管理するということですので、そこら辺はこれから協議すると、いろいろ意見を聞くというふうなことで、現在、市としてそれ以上のことはできないというふうに聞いております。

以上です。

議長（増田 清君） 1番。

1番（沢登英信君） 一昨年だったかと思うんですが、大変台風とともに海草等が押し寄せてほとんど海水浴場といわれているところに海草が打ち寄せると。旧町の鍋田海水浴場というんでしょうか、海岸にまでカジメが大変打ち上がるというような状況があったかと思うんですが、そういう点については前は1つの例として、今年への対応も一昨年並みの形の対応の予定があるのかどうなのか。海水浴場の整備というのは、非常に下田市にとって夏を迎えるに当たって大変大切な事業かと思うんですが、そこら辺の点はどのように触れられているのかお尋ねをしたいと思います。

〔産業厚生常任委員長 鈴木 敬君登壇〕

産業厚生常任委員長（鈴木 敬君） お答えします。さきの委員会審議の中ではそのような意見も出ませんでしたし、そのような被害状況等々の報告もありませんでした。

以上です。

議長（増田 清君） ほかに質疑ありませんか。

これをもって産業厚生常任委員長に対する質疑を終わります。

ご苦労さまでした。

次に、総務文教常任委員長、田坂富代君の報告を求めます。

7番。

〔総務文教常任委員長 田坂富代君登壇〕

総務文教常任委員長（田坂富代君） 総務文教常任委員会審査報告書。

本委員会に付託された議案は、審査の結果、次のとおり議決するものと決定したので報告いたします。

記。

1．議案の名称。

1) 議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）（本委員会付託事項）。

2．審査の経過。

6月30日、第1委員会室において、議案審査のため委員会を開催し、市当局より野田教育長、糸賀企画財政課長、鈴木総務課長、原市民課長、清水福祉事務所長、名高学校教育課長、前田生涯学習課長、土屋議会事務局長の出席を求め、それぞれの説明を聴取の上、慎重に審査を行った。

あわせて関係議案にかかわる現地視察を行い、審査に万全を期した。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりである。

3．決定及びその理由。

1) 議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）（本委員会付託事項）。

決定、原案可決。

理由、やむをえないものと認めた。

以上でございます。

議長（増田 清君） ただいまの総務文教常任委員長の報告に対し質疑を許します。

6番。

6番（岸山久志君） 今まで経済対策等の国からの補助金がいろいろあったと思いますが、今回につきましても前回あったときこのようなことで使ったから今回もこんなものでいいだろう、そういう様子、というかその補助金の活用がそういう様子が見えますが、それについて企画財政等の話で質問等は出なかったかお尋ねします。下田らしい、もっと下田らしい補助金の活用があるように思いますがいかがでしょうか。

〔総務文教常任委員長 田坂富代君登壇〕

総務文教常任委員長（田坂富代君） これは緊急経済対策で3月の議会で繰り越しされたものという形でやっていると思うんですけども、企画財政課のほうの質疑におきましては、特に映写機のことについて質疑がございました。それは映写機を購入ということそれが市内の経済対策になるのでしょうかということで質疑がございましたが、やはりこれは900万が

機材であり、その残りが取り付け配線その他に係る予算であるということなのでそちらを附帯作業等は市内の業者を使ってほしいというような議論はございました。

以上です。

議長（増田 清君） 6番。

6番（岸山久志君） 映写機でついでに聞きますけれども、映写機、多分機械が900万ということはイタリア製かドイツ製とかという話を聞きましたけれども、結局、国の経済対策なのに何で海外の品を使わなければならないのかという疑問点もありますし、それはいいですけども、映写機において照度が足りなくてよく苦情があるとかという課長からの答弁がありましたけれども、それはどのような映画を見て照度が足りなかったのか、どのような苦情があったのかということは聞かれたでしょうか。

〔総務文教常任委員長 田坂富代君登壇〕

総務文教常任委員長（田坂富代君） 苦情があったというようなお話は伺っておりますけれども、それ以上の議員が指摘されたような視点での議論はございませんでした。

議長（増田 清君） 6番。

6番（岸山久志君） 多分映画は子供たちの情操教育等でやはり、多少は必要かと思うんですが、現状映画を見れないという状態にはなっていないという話がありましたので、今回多分苦情があったということは16回中8回ぐらいはアニメの映画なんですけれども、多分子供たちに、この明るさじゃピカチュウの何とか光線でやっつけられないよというような苦情じゃないかなとそんな予測もします。もし、情操教育で映画が必要な場合は、学校として映写機で見ればいけれどもと思いますし、今回完全に見れないというわけではありませんし、よく道路等少し悪くなったときに早く直せばこんなに予算がかからなかったということがあり、先に手を打ったほうがよかったという場合もあるかもしれませんが、今回に限っては、映写機の購入は見合わせて、一時、今ある映写機で使ってはいかがだと思います。情勢を見てその後購入ということを改めて考えても遅くはないような気がしますがいかがでしょうか。

〔総務文教常任委員長 田坂富代君登壇〕

総務文教常任委員長（田坂富代君） 我々委員会においては、そういう視点での議論はございませんでした。

以上です。

議長（増田 清君） ほかにありませんか。

10番。

10番（大黒孝行君） アスベストの件で追跡調査等々を丁寧にやってください、そういうお願いをしたものですが、この財政のつけ方で起債に係る部分でちょっとお聞きをしたいんですが、小学校では約半分の500万強が起債、中学校では270万の250万の起債でほとんど丸々起債で応じておりますが、こういう財政の組み方は何か理由があったかどうか議論されたでしょうか。お願いします。

〔総務文教常任委員長 田坂富代君登壇〕

総務文教常任委員長（田坂富代君） 当局からはそのような説明は聞いております。説明は聞いておりますが、そのことについての議論はございませんでした。

議長（増田 清君） ほかにありませんか。

これをもって総務文教常任委員長に対する質疑を終わります。

ご苦労さまでした。

委員長報告と質疑を終わりました。

これより各議案について、討論、採決を行います。

議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）を討論に付します。

まず、本案に対する反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） 採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長の報告どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議はないものと認めます。

よって、議第45号 平成21年度下田市一般会計補正予算（第2号）は、委員長の報告どおりこれを可決することに決定いたしました。

次に、議第46号 平成21年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）を討論に付します。

まず、本案に対する反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長の報告どおり決すること

にご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議はないものと認めます。

よって、議第46号 平成21年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は、委員長の報告どおりこれを可決することに決定いたしました。

発議第5号の上程・説明・質疑・討論・採決

議長（増田 清君） 次は、日程により発議第5号 国の乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書の提出についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

2番。

〔2番 藤井六一君登壇〕

2番（藤井六一君） 発議第5号 国の乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書の提出について。

地方自治法第99条の規定により、国の乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書を別紙により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に提出するものとする。

平成21年7月2日提出。

提出者、下田市議会議員 藤井六一。以下敬称を略させていただきます。

賛成者、下田市議会議員 沢登英信、同じく伊藤英雄、同じく土屋雄二、同じく田坂富代、同じく土屋誠司、同じく森 温繁。

提案理由、乳幼児医療費無料制度の創設を求めるため。

国の乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書。

当市では、高齢化率が30%を超え、少子化が大変進んでいます。市の存亡に関わる事態で、人口減少危機宣言をせざるを得ない状況です。今、国の子育て支援政策が求められています。

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多く、病気の早期発見・早期治療を支える環境が非常に大切です。その一つとして、子どもの医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援になります。乳幼児の医療費無料制度は、すでに全都道府県、全市区町村で実施され、親たちへの大きな励ましとなっています。

しかし、市町村の独自制度として行われているために、財政困難などを理由として制度内

容には大きな格差があります。例えば、助成対象年齢は、1歳児までのところもあれば高校卒業までを対象としているところもあります。どこに生まれ住んでも、子どもは等しく大切に育てられなければなりません。そのためには、国として制度を創設し、市町村を支援していくことが求められています。

参議院本会議では2001年6月、すべての政党・会派一致で「少子化対策推進に関する決議」を採択しました。その中で、政府に対し「乳幼児医療費の国庫助成」等を「重点的に取り組むべきである」と求めました。また、この数年間に、国の制度創設を求める意見書が4割を超える都道府県議会・市区町村議会で採択され、国に提出されています。

参議院本会議の「決議」を实らせ、安心して子どもを産み、育てることのできる社会への第一歩とするために、小学校就学前の子どもを対象とした国の医療費無料制度を早期に創設するよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年7月2日、静岡県下田市議会。

以上で説明を終わります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

議長（増田 清君） 提出者の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） 質疑はないものと認めます。

ご苦労さまでした。議席へお戻りください。

お諮りいたします。

本案は委員会に付託することを省略したいと思えます。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議がないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議はないものと認めます。

よって、発議第5号 国の乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書の提出については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

常任委員会の閉会中の継続審査について

議長（増田 清君） 次は、日程により、常任委員会の閉会中の継続調査についてを議題といたします。

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会のそれぞれの委員長から、お手元に配付してありますように、議会閉会中の所管事務調査の申し出があります。

お諮りいたします。

各常任委員会の申し出のとおり、平成21年度議会閉会中の継続調査に付することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（増田 清君） ご異議はないものと認めます。

よって、各常任委員会所管事務調査については、議会閉会中の継続調査に付することに決定をいたしました。

議長（増田 清君） 以上で、本定例会に付議されました案件の審議はすべて終了いたしました。

これをもって平成21年6月下田市議会定例会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

午前10時24分閉会